

R F I D技術を適用した医療・福祉施設向け 歩行ナビゲーションシステム

Navigation Systems Using RFID Tags for Walkers in Medical and Welfare Facilities

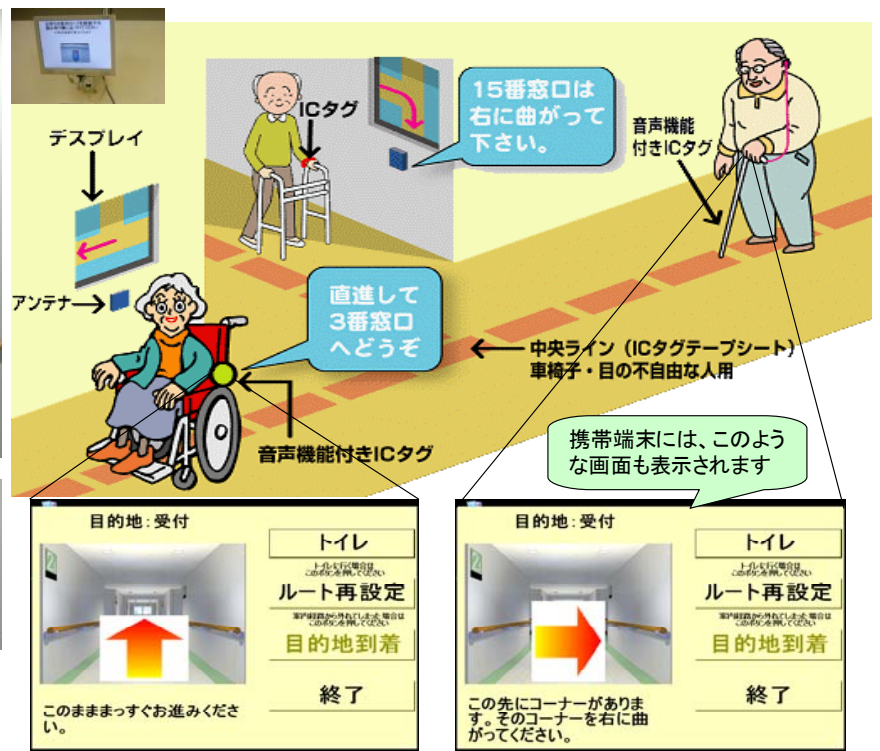
近年では、高齢者に優しく、障害者に配慮した建物が増加している。この背景から医療・福祉施設への外来患者、見舞い人及び若干の障害を有する方を対象にした歩行ナビゲーションシステムを開発した。

このシステムは、健常者はもとより、身体の不自由な方でも利用できるように、誘導のための RFID(Radio Frequency IDentification) 技術を採用している。

健常者には誘導場所を登録した IC タグを、身体の不自由な方には通路に埋設した IC タグを読み取る杖状の読取装置付き携帯端末などを所持してもらうことにより、画像と音声で誘導を行う。特に後者は、迷子になった場合にルート再設定が可能な点が特長である。この技術は、デパートや公共施設などへの適用も期待されている。



健常者の例



障害者の例